

学年	教科等	単元名	日時
第6学年	外国語科	I want to be a fashion designer. 将来の夢・職業 (第5時)	令和8年2月6日(金)

1 本時の目標

将来の夢について仲間に伝わるように、就きたい職業やその理由等を表す既習の語句や表現を生かし、伝える内容を整理して、自分の思いや考えを話すことができる。

2 指導過程

学習活動及び学習内容 (★は評価にかかわるもの)	「自律的に学ぶ」ための手立て
<p>1 単元ゴールや My Goal を確認し、前時のふりかえりから、本時の見通しとゴールイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ゴールと My Goal ○ 本時のめあて <p>将来の夢が伝えたい相手に伝わるように、仲間と My dream スピーチの内容や表現を工夫しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の将来の夢について、相手にどのように思っしてほしいかを問うことで、My Goal を再確認し、伝える相手や目的を意識して本時の活動に臨むことができるようにする。 ○ 今のスピーチの課題は何かを問い、めあてへとつなげることで、スピーチの内容や表現を仲間とよりよくしていくという見通しをもつことができるようにする。 ○ ある職業を将来の夢と仮定して話すスモールトークを基に、用いた表現や上手く言えなかった表現を共有し、話し合う場を設けることで、仲間と互いの表現を見つめ直す際に生かすことができるようにする。
<p>2 ペアでのスモールトークを基に、My dream スピーチに生かせそうな表現を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スピーチに生かせそうな表現 <p>スモールトークの表現の例 I want to be a farmer. I like vegetables. (好きなことやもの) I want to grow delicious vegetables. (したいこと) Farmers are cool. (職業に対する思い) 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援アプリに、My dream スピーチで活用できそうな既習の語句や表現のカードをカテゴリ別に準備しておくことで、仲間と表現を確認したり、表現を選び直したりすることができるようにする。 ○ 全体での共有の場において、仲間の表現のよさや仲間から助言されたことは何かを問うことで、「自分の体験」「頑張りたいこと」等を伝えるといった表現の工夫を見いだすことができるようにする。 ○ 困り感への具体的な解決策を話し合う際には、既習の表現のなかから、どの表現が使えるかを問うことで、既習の表現を想起し、伝えたいことと言語材料を結び付けて表現しようとするようにする。
<p>3 試しのスピーチを行い、表現の工夫と困り感への解決策を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふりかえり① (評価・助言⇒再構築) ○ My dream スピーチの表現の工夫 ○ 全体での共有 (Sharing Time) <p>My dream スピーチの表現の工夫の例 自分の体験を伝える、職業の魅力を伝える、頑張りたいことや将来したいことを伝える、あこがれの人物を伝える、職業に対する思いを伝える、問いかけを入れる、伝える順番を変える 等</p> <p>困り感の例 ⇒ 解決策の例 ・○○の言い方が分からない ⇒ 既習の表現に置き換える ・もっと詳しく伝えたい ⇒ 理由を表す表現を増やす</p> <p>ふりかえりの視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体での共有で見いだした表現の工夫や解決策をふりかえりの視点とし、仲間と互いの表現をふりかえる場を設けることで、将来の夢とその理由が伝わるように、互いの表現を見つめ直し、再構築できるようにする。 ○ ふりかえり①が滞っている場合は、My Goal につながるふりかえりの視点を問うたり、職業に就きたい理由と結び付きそうな既習の表現を考えるように促したりすることで、表現を見つめ直すことができるようにする。
<p>4 グループの仲間とスピーチを行い、互いの表現を見つめ直す。(★)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふりかえり① (評価・助言⇒再構築) ○ ふりかえりの視点を生かした表現の工夫 <p>My dream スピーチの例 I want to be an astronaut. I like space. Do you like space? My hero is Soichi Noguchi. I read his book. He is smart and cool. I want to go to NASA. I want to study English hard.</p> <p>反応をもらうために、問いかけを入れよう。 あこがれの人についての本を読んだ体験も入れたら、本気度が伝わりそう。 応援してもらうために、最後に、これから頑張りたいことを伝えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「仲間からの助言」や「全体での共有」を表現の変容の要因として捉え、記述している子どもを価値付けることで、表現の高まりを自覚したり、仲間と表現を高め合うことのよさを実感したりできるようにする。
<p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふりかえり② (記述) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の表現の変容とその要因 ・ 課題や今後の目標 	

3 本時の評価規準

将来の夢について仲間に伝わるように、就きたい職業やその理由等を表す既習の語句や表現を生かし、伝える内容を整理して、自分の思いや考えを話している。 (思考・判断・表現) 【発言分析・記述分析】

4 板書等

The image shows two main educational displays. The top display is a green chalkboard with handwritten Japanese notes and printed English cards. The notes include a goal: "2/6 I want to be a fashion designer. ⑤" and "GOAL★ 将来の夢が相手に伝わるように、アドバイスをもらってスピーチをよりよくしよう!". There are also cards for "My GOAL" (仲間, 先生, 家族), "Sharing Time" (Do you like~?, Do you know~?), and "Small Talk" (like, 野菜, My OO is ~ 家族がきかづ). The bottom display is a blue board with a grid of cards for a speech memo, including cards for "I like", "Do you like~?", "Do you know~?", "My hero is", and "I want to be".

【A児の終末のふりかえり (記述)】

【A児のスピーチメモ】

5 指導講評

宮崎県教育庁 義務教育課 岩崎 香恵 副主任

- 子どもが将来の夢を伝えたい必然性が生まれていた。単元ゴールに向けた My Goal の設定によって、単なる言語材料の習得に留まらず、「誰にどう思ってもらいたい」といった相手意識や目的意識に基づいて、子どもが目標を設定していた点が高く評価できる。
- 表現を再構築するためのふりかえり①の質が高まっていた。Small Talk や試しのスピーチの後に Sharing Time を設けて全体で表現の工夫や困り感を共有し、具体的な解決策を見出すプロセスが、スピーチの質を高めることにつながっていた。年間をとおして、ふりかえり①の質がどのように変容していったかを見取ることも研究として重要である。
- 本単元のゴールは「話すことの発表 (スピーチ)」であるため、どのようにスピーチの表現が変容したのかを子ども自身が意識できるとよい。そのためにも、グループでのふりかえり①の後に、Sharing Time で共有した視点や仲間からの助言を基に、スピーチにどう生かすのかを個人で考える時間を設けるとよいのではないかと。その際に、My Goal に立ち返ってスピーチを見つめ直し、再構築できるとよい。

6 考察

【研究内容 1 : 仲間とともに表現を高め合うためのプロセスの在り方】

① 自分や仲間の表現を見つめ直し、再構築へとつなげる言語活動後のふりかえり(ふりかえり①)

1 回目のふりかえり①の後に、全体での共有の場を設け、仲間の表現のよさや助言されたことは何かを問うたことで、「問いかけを入れる」「尊敬する人を紹介する」「自分の体験を入れる」等の表現の工夫を見出すことができた。また、仲間の困り感に対しては、「知っている英語で伝える」等の解決策が出された。これらの話し合った内容をふりかえりの視点として、グループの仲間と互いの表現を見つめ直し、評価・助言し合いながら表現を再構築する姿が見られた。A児のスピーチメモやふりかえりの記述からも、「問いかけ」や「あこがれの人」等のふりかえりの視点を基にした仲間からの助言によって、表現を再構築したことが分かった。今後は、仲間からの助言をどのように生かすかを個人で考える時間を設定することで、My Goal に立ち返って自分のスピーチを見つめ直し、表現を再構築することができるようにしていきたい。

② 自分の表現の高まりを自覚するふりかえり(ふりかえり②)

自分の表現がどのように変容したかを問うたり、表現が変容した理由やきっかけを選択肢として示したりしたことで、スピーチの表現の変容とその要因を関連付けてふりかえり、仲間からの助言等によって表現が高まったことを自覚する記述が多く見られた。今後は、My Goal と表現の変容についても関連付けながらふりかえることができるような手立てを考えていきたい。